

NISSUI

ノロウイルス抗原キット GEテスト イムノクロマト-ノロ 「ニッスイ」

ノロウイルス抗原の検出が保険適用となりました。
ウイルス性急性胃腸炎の原因であるノロウイルスを
Genogroup別に簡単に検出できる迅速診断用キットです。

特徴

- 糞便検体中のノロウイルス(Norovirus)抗原が検出可能なイムノクロマト法による迅速診断用キットです。
- ノロウイルス抗原の検査結果はGenogroupI(GI)とGenogroupII(GII)を判別して15分程度で報告可能です。
- モノテストタイプで少数検体から検査可能です。
- 糞便検体の前処理(遠心およびろ過)や試薬の後添加が不要な為、操作が極めて簡便です。

操作は **3** ステップ!
判定まで **15** 分!

GI と GII を判別して検出可能!

試料調製(採取・混釈)

試料滴下(アプライ・反応)

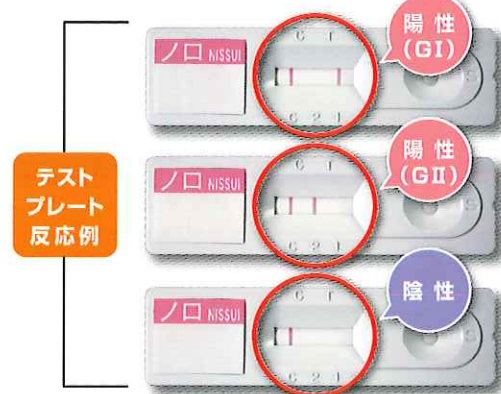
迅速判定(陽性・陰性)



〔包装内容〕

- ① テストプレート…10テスト(1テスト×10袋)
- ② 検体抽出液…10本
- ③ 試料ろ過フィルター…10個
- ④ 綿棒(糞便採取用)…10本(5本×2袋)
- ⑤ スタンド…1個

※本検査に他の資材は必要ありません。



使用上の注意

- 試薬はすべて、1～30℃保存・禁凍結として下さい。
- 冷所保管された場合、適切な抗原抗体反応を行わせる為、テストプレートと検体抽出液は検査前に室内温度(15～30℃)に戻してからご使用下さい。
- 判定が陰性であってもノロウイルス抗原量が検出限界以下である場合があります。そのため、診断には臨床症状や他の検査結果と合わせて総合的に判断するようにして下さい。
- 本キットはノロウイルス抗原をGenogroup別(GIおよびGII)に検出する定性試薬であり、反応ラインの濃淡で抗原の定量性を判断することはできません。

品名	製品コード	包装	希望納入価格(円)	貯法・使用期限
GEテストイムノクロマト-ノロ「ニッスイ」	07852	10回用	15,000	1～30℃保存・禁凍結 製造後24ヵ月間

試験方法

STEP-1 >>> 試料調製

検体抽出液チューブのアルミシールをはがし、キット付属の綿棒で採取した検体(糞便)を入れ懸濁します。また、テストプレートはアルミパウチ袋に入れたまま室温に戻し、使用直前に取り出します。



STEP-2 >>> 試料滴下

調製した試料溶液(チューブ)に試料ろ過フィルターを装着し、テストプレートに**3滴**滴下します。



簡単
操作
で

試薬の
入れ忘れ
なし!!

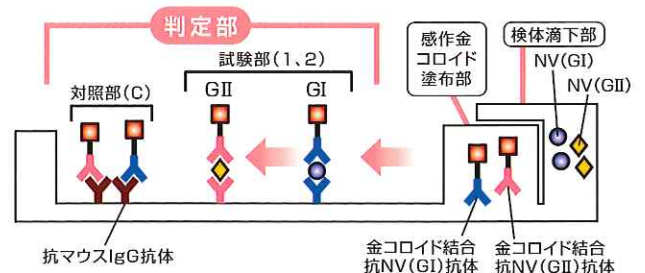
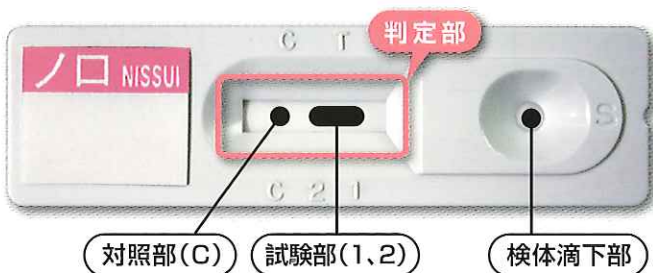
STEP-3 >>> 迅速判定

試料溶液滴下の**15分後**、速やかに判定部に現れる赤紫色のラインを目視判定します。

※非特異反応の可能性があるため、検体を検体抽出液で2倍程度に希釈して再試験して下さい。



各部名称と検出原理



テストプレートの検体滴下部に試料溶液を滴下すると、予め感作金コロイド塗布部に充填乾燥された試薬が溶解し、試料中のノロウイルス抗原(GI、GII)と各々複合体を形成します。これらの複合体が各判定部に移動し、試験部(1、2)に固定化されたモノクローナル抗体に結合して捕捉され、赤紫色のラインを形成します。一方、試料中のノロウイルス抗原(GI、GII)の有無にかかわらず試料溶液が正常に移動すると対照部(C)には赤紫色のラインが形成されます。

判定について



1. "C"に反応ラインが出現し、"1、2"に反応ラインの発色が弱くても赤紫色のラインが確認できれば陽性です。また、"C"に反応ラインが出現し、"1、2"に反応ラインの発色が明らかでない場合は陰性です。
2. 判定は、試料溶液を滴下して15分経過後(30分以内に)、行って下さい。
3. "C"及び"1、2"の全てに赤紫色のラインが確認できる場合、非特異反応の可能性があるので、検体を検体抽出液で2倍程度に希釈して再試験して下さい。